

新しいことへのチャレンジ…

★10/8～9 いつもと違う修学旅行を通して

6年生は大型バス3台を使い長崎に修学旅行に行きました。いつもとは違うプランでしたがいつもと同じように見て、聞いて、感じて多くの学習をしてきた6年生はとても立派な態度でした。例年と違うのは、特にバスの中の過ごし方や食事だったように感じました。さわぐことなくバスガイドさんの話をしっかり聞きながら、場を切り替えて“サイレントバスレク”（声を出さないバス内のレクリエーション）をみんなで決行していきます。レク担当の子どもたちは盛り上げるために、ジェスチャーでの表現や書き込みの用紙などを事前に計画準備し、なんとか切り盛りしていました。また二日間の食事でも（どの会場も広く本校だけの貸し切り）大騒ぎすることなくマナーを守り楽しく食事をする姿がありました。ホテルの過ごし方も言うことなし…



十分な空間のバス内

二日間の学習、活動の姿を通して6年生集団のすばらしさをあらためて感じたところです。「新しい修学旅行の形」を作ってくれた子どもたちに拍手を送ります。

※この修学旅行は旅行会社、ホテル等の方々のご配慮から成立しております。この日のためにさまざまに尽力していただきました関係の皆様へ感謝申し上げます。

★10/20 性暴力対策に関する学習 6年

「性暴力対策」といっても事件性のある暴力的な事例を学習するものではありません。性と人権、体や性の仕組み、相手への理解と尊重等に関する授業です。今回は福岡県から派遣された2名のアドバイザーの方の授業でした。これは福岡県の性暴力根絶条例に基づいた取り組みで、児童・生徒の発達段階に応じて性暴力の根絶や被害者支援に関する総合的な教育を行うというものです。子どもたちからは

「※境界線という意味が分かってよかった」

という感想も多くあり意味のある学習となったようでした。

※踏み込んでほしくないと感じる、目に見えない領域の境のこと。「透明バリア」とも表現されている。

★10/22「話し合い」で力をつけよう！2年2組、1年1組

本校では学級会に力を入れています。子どもたちが自分の考えをもって自分たちの企画や計画について話し合います。教科の学習とは違った集団のつながりや自治の力を高めることができます。この日は「1年1組 にこにこうんどうかいをしよう」「2年2組わくわく秋まつりをしよう」という議題で熱心な話し合いが行われました。多くの学年がこのような話し合いを経てみんなで実践する楽しさや価値を味わっていきます。

落とし物が増えています…

2学期が始まってから気温の変化が大きくなってきているのか衣服やマスクの落とし物が増えています。

新型コロナウイルス感染症対策の視点からみれば、落とし物の管理は少し神経を使うところです。自分の持ち物をしっかり確認して、落としたとしても探したり取りに来たりする気持ちをもってもらいたいですね…名前も書いてね！



並べている落とし物はどんどん増える…